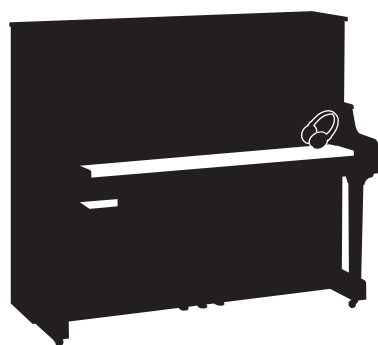


SILENT *Piano*TM
SG2



Owner's manual
Manuel de l'utilisateur
Bedienungsanleitung
Manual del propietario
Uso e manutenzione
使用说明书
取扱説明書
Manual do Proprietário



SILENT *Piano*TM
SG2

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、ヤマハ サイレントピアノ™をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、お使いになるまえに、この取扱説明書を必ずお読みください。

- ◆安全上の注意事項について、「安全上のご注意」(3～4ページ)に記載しています。本機をお使いになるまえに、必ずお読みください。
- ◆この取扱説明書と保証書は大切に保管し、使い方がわからないときや調子が悪いときにお役立てください。
- ◆お買い上げいただいた際、保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

本機の特長

ヤマハ独自の消音システム

ヤマハ独自の技術を投入し、アコースティックピアノ演奏時のタッチをほとんど変えることなく、優れた消音演奏性能を実現。ハンマーシャンクストッパーが打鍵直前でハンマーの動きを止め、光センサーが打鍵情報を正確にキャッチします。打鍵情報は内蔵電子音源に伝えられ、フルコンサートグランドピアノからサンプリングされたピアノ音を豊かに奏でます。

豊かな表現を可能にする非接触式センサーを搭載

鍵盤の微妙な動きを、どこにも接点がない非接触式の光センサーが忠実に検出。タッチに影響を与えることなく、微妙なニュアンスをきめ細かくキャッチし、豊かな演奏表現が可能です。

リアルなピアノ音源

ヤマハコンサートグランドピアノを忠実にステレオサンプリングしたピアノ音源で、よりリアルなピアノ音を表現できるようになりました。ピアノ独特の鋭い立ち上がりと美しい余韻から、打鍵の強弱による音色の変化、ダンパーの共鳴効果にいたるまで、表情豊かなピアノ音色をお楽しみください。

多彩な表現を可能にする合計 10 音色を内蔵

ピアノ以外にも、ハープシコードやパイプオルガンなど多彩な音色を内蔵。ピアノ以外の音色では、音に変化をつけたバリエーションもお楽しみいただけます。さらにふたつの音色を組み合わせることが出来るデュアルボイス機能を搭載。さまざまなジャンルの楽曲、多彩な表現を、この1台でお楽しみいただけます。

レッスンに役立つ録音／再生機能を搭載

内蔵メモリーに1曲分の録音が可能です。練習や作曲にお役立ていただけます。また、USBメモリーも接続可能。内蔵メモリーに録音した曲を保存したり、USBメモリー内に保存されている曲を本機で再生したりすることができます。

安全上のご注意

お使いになるまえに、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

記号表示について



この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意 感電の恐れあり キャビネットをあげるな		注意: 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網にご依頼ください。
---	-------------------------------------	---	--

- △ 記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、⚡ は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、⚠ は注意が必要なことを示しています。
- ⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号は、行為を強制または指示することを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。


「警告」と「注意」について


以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。


 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	---	---	--


警告

電源/電源コード


 **プラグを抜く**
本機の内部に異物や液体が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。


 **プラグを抜く**
使用中に電子音が出なくなったり、異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検をご依頼ください。

 **必ず行う**
ACアダプターは、必ず付属のものを使用する。ほかのACアダプターを使用すると、発熱や感電の原因になります。


 **必ず行う**
電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など、交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

設置


 **使用禁止**
浴室や雨天時の屋外など、湿気の多いところで使用しない。感電や火災、または故障の原因になります。


 **水ぬれ禁止**
本機の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。こぼれたり、中に入ったりした場合、感電や火災、または故障の原因になります。


分解禁止

 **分解禁止**
本機の内部を開けたり、内部の部品を分解、改造したりしない。感電や火災、または故障の原因になります。異常を感じた場合は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハサービス網に点検修理をご依頼ください。

お手入れ







 **プラグを抜く**
お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。感電のおそれがあります。

 **必ず行う**
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。





 **必ず行う**
ユニット類を拭く場合は、乾燥した布を使用する。感電や火災、または故障の原因になります。

⚠ 注意


電源／電源コード

-  **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。**
感電のおそれがあります。
-  **電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものを載せない。**
電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。
-  **タコ足配線をしていない。**
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりすることがあります。
-  **電源コードやプラグが傷んだときは使用しない。**
感電やショート、発火などの原因になります。
-  **長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**
感電やショート、発火などの原因になります。
-  **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。**
電源コードが破損して、感電や火災の原因になります。





設置

-  **不安定な場所に置かない。**
機器が転倒して、故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
-  **直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど、極端に温度が高いところ、逆に極端に温度が低いところ、またはほこりや振動が多いところで使用しない。**
外形が変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。
-  **通風孔をふさがない。**
内部に熱がこもり、火災の原因になります。
-  **テレビやラジオ、スピーカーなど、ほかの電気製品の近くで使用しない。**
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。






接続

-  **ほかの機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったうえで行う。また、電源を入れたり切ったりするまえに、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。**
感電や機器の損傷のおそれがあります。

移動

-  **本機を移動するときは、引きずらない。**
床を傷つけるおそれがあります。
-  **本機を移動するときは、必ず電源コードなどのケーブルをすべて外したうえで行う。**
コードを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
-  **本機を移動するときは、手や足を挟まないようにする。**
けがをするおそれがあります。
-  **本機を移動するときは、ゆっくりと丁寧に進行。**
本機が転倒したり、周囲のものと衝突したりするおそれがあります。本機の運搬、移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。

使用上の注意

-  **本機の上に乗ったり、重いものを載せたりしない。また、スイッチやツマミ、入出力端子などに無理な力を加えない。**
本機が破損する原因になります。
-  **機器の開口部やすき間、鍵盤のすき間などから、金属や紙片などの異物を入れない。**
感電、ショート、火災や故障の原因になります。
-  **大きな音量で長時間使用しない。**
聴力障害の原因になります。特にヘッドフォンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。
-  **本機を使用しないときは、鍵盤蓋を閉める。鍵盤蓋の開閉は両手で静かに行う。また、自分の周りの方が不用意に鍵盤蓋に触れないようにする。**
鍵盤蓋に手や指を挟み、けがをするおそれがあります。
-  **地震のときは、本機から離れる。**
地震による強い揺れで本機が動いたり転倒したりして、けがをするおそれがあります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

目次

ごあいさつ.....	2	3章 録音と再生	15
本機の特長.....	2	演奏を録音する.....	15
安全上のご注意.....	3	内蔵メモリーに録音した曲を再生する.....	16
1章 はじめに	5	USBメモリーを接続する.....	17
付属品.....	5	録音した曲をUSBメモリーに保存する.....	18
設置について.....	5	USBメモリーの曲を再生する.....	19
各部の名称.....	6	試聴曲を再生する（試聴モード）.....	21
ヘッドフォンハンガーを取り付ける.....	8	4章 他の機器との接続	23
オートパワーオフ機能を設定する.....	8	他のオーディオ機器と接続する.....	23
ACアダプターを接続する.....	9	他のMIDI機器と接続する.....	25
2章 演奏時の操作	10	5章 その他の情報	26
消音演奏をする.....	10	故障かな？と思ったら.....	26
音色を選ぶ.....	11	エラー通知について.....	27
ブリリアンスを調整する.....	12	音色一覧.....	28
リバーブをかける.....	13	試聴曲一覧.....	29
ピッチを合わせる.....	13	各音色のMIDIデータ	
DDE（ダイナミック・ダンパー・エフェクト）		（プログラムチェンジナンバー）.....	30
をかける.....	14	MIDIファイルの再生順序.....	30
すべての設定を工場出荷時の値に戻す		仕様.....	31
（オールリセット）.....	14	取り扱いについて.....	32
		鍵盤操作一覧.....	33
		保証とサービスについて.....	38

付属品

以下の付属品がお手元にあることをご確認ください。

- ・ ACアダプター（PA-150Aまたは、PA-150B） 1個
- ・ ヘッドフォン 1本
- ・ ヘッドフォンハンガー 1個
- ・ ヘッドフォンハンガー取り付けネジ 2本
- ・ 取扱説明書（本書） 1冊

メモ

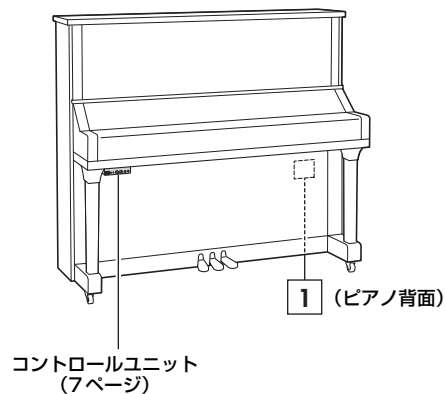
上記はサイレントピアノ特有の付属品です。上記以外の付属品については、別冊のピアノ取扱説明書をご覧ください。

設置について

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房機器のそばなど高温な場所、高湿な場所は避けて設置してください。
- ・ ホコリが多い場所は避けて設置してください。
- ・ 煙、スプレーなどがかからないようにご使用ください。
- ・ ACアダプターは必ず指定のものをご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると発熱や火災、または故障の原因になります。

各部の名称

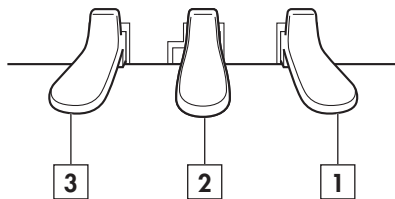
■ ピアノ本体



1 電源入力端子 (DC12V)

付属の AC アダプターを接続します。

■ ペダル



1 ダンパーペダル

このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても、音を長く響かせることができます。ピアノ音色で演奏しているときにこのペダルを踏むと、アコースティックピアノで得られる弦の共鳴効果（ダイナミックダンパーエフェクト）が加わります。

2 消音ペダル

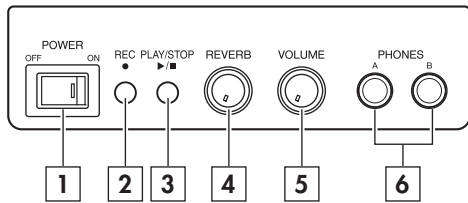
このペダルを踏んで左側にスライドさせると、ピアノが消音状態になります。

3 ソフトペダル

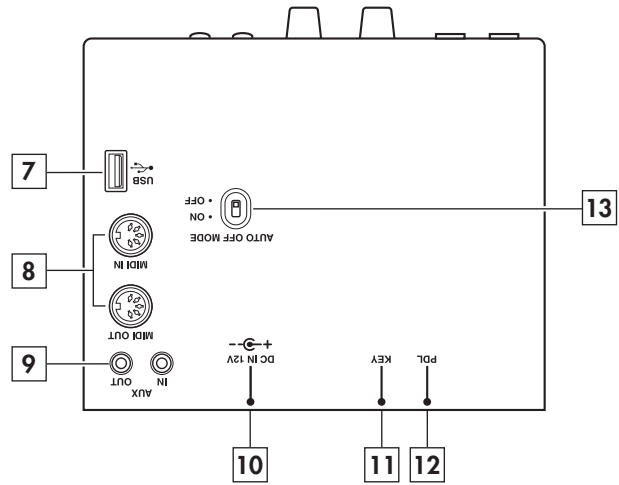
このペダルを踏むと、ソフトな音になります。ピアノ以外の音色を選んでいるときにこのペダルを踏むと、ノーマル音色とバリエーション音色とを切り替えることができます（11 ページ）。

■ コントロールユニット

コントロールユニット前面



コントロールユニット底面 / 背面



1 電源スイッチ (POWER)

電源をオン／オフします。

2 録音ボタン (REC)

本機を録音待機の状態にします。ボタンとランプ兼用で、ランプの点灯の種類により録音状態を表示します。

3 再生／停止ボタン (PLAY/STOP)

再生を開始／停止します。ボタンとランプ兼用で、ランプの点灯の種類により本機の状態を表示します。

4 リバーブ調整ツマミ (REVERB)

リバーブの深さ (かかり具合) を調節します。

5 音量ツマミ (VOLUME)

ヘッドフォン端子からの出力の音量を調節します。

6 ヘッドフォン端子

(PHONES : 標準ジャック)

ヘッドフォンを接続します。2本まで同時に使えます。

7 USB端子 (USB TO DEVICE)

USBメモリーを接続します。

8 MIDI IN/MIDI OUT 端子

外部MIDI機器の出力端子／入力端子と接続します。

9 AUX IN/AUX OUT 端子

(ステレオミニジャック)

外部オーディオ機器の出力端子／入力端子と接続します。

10 電源入力端子 (DC IN 12V)

付属のACアダプターを接続します。

11 KEY 端子

キーセンサー用の端子です (納入時に接続されています)。

12 PDL 端子

ペダルセンサー用の端子です (納入時に接続されています)。

13 オートパワーオフ機能スイッチ

(AUTO OFF MODE)

オートパワーオフ機能をオン／オフします。オンに設定すると、無操作の状態が30分間続いた場合に、自動的に電源が切れます。

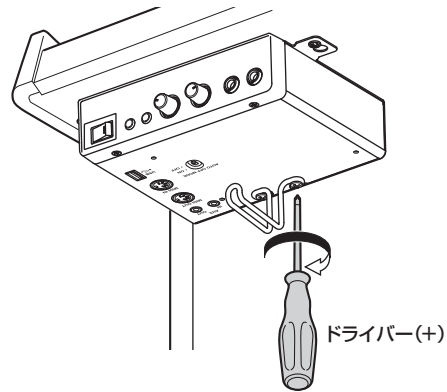
ヘッドフォンハンガーを取り付ける

必要に応じて、付属の取り付けネジ（2個）でコントロールユニット底面に取り付けてください。

注意



定期的にネジを締めなおす。
長期間使用しているとネジがゆるんでくる
ことがあります。



オートパワーオフ機能を設定する

無操作の状態が30分間続いた場合に、自動的に電源を切ることができます。

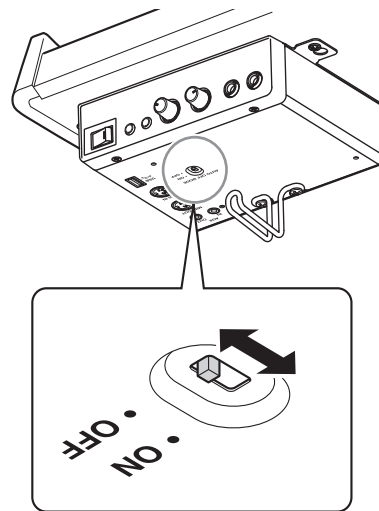
コントロールユニット底面のオートパワーオフ機能スイッチ（AUTO OFF MODE）を設定します。

ON： オートパワーオフ機能を有効にします。無操作の状態が30分間続くと、自動的に電源が切れます。電源を入れたいときは、コントロールユニット前面の電源スイッチ（POWER）をいったんオフにして、電源を入れなおします。

OFF： オートパワーオフ機能を無効にします。コントロールユニットの電源スイッチ（POWER）で電源をオン/オフします。

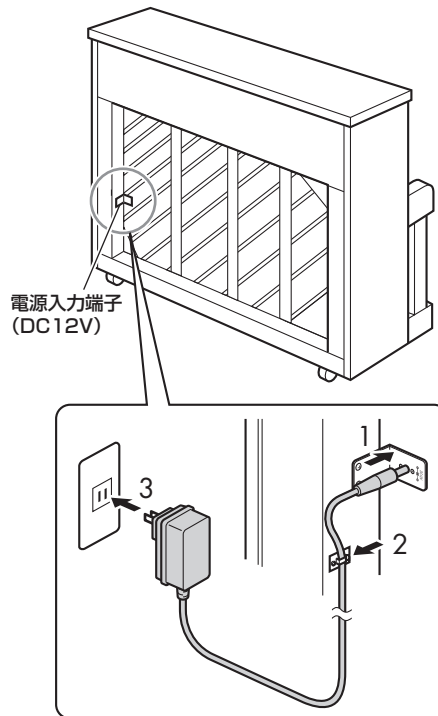
メモ

OFFに設定した状態で電源を入れると、コントロールユニット前面のPLAY/STOPランプが2秒間点灯します。



ACアダプターを接続する

- 1 ピアノ背面の電源入力端子 (DC12V) に ACアダプターを接続します。
- 2 ピアノ背面のフック (金具) に ACアダプターのコードを通します。
- 3 家庭用コンセント (AC100V) に ACアダプターを接続します。



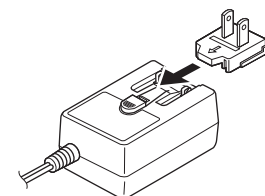
警告	必ず行う ACアダプターは、必ず付属のもの (PA-150AまたはPA-150B) を使用する。ほかの電源アダプターを使用すると、発熱や感電の原因になります。
注意	禁止 コードを引っ張ったり、コードの根元部分を曲げたりしない。断線の原因になります。
	必ず行う ACアダプターを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行う。感電や機器の損傷のおそれがあります。
	必ず行う 本機を移動するときは、必ずコンセントおよび本体から ACアダプターを外す。コードを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。
	必ず行う 長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから ACアダプターを外す。感電やショート、発火などの原因になります。

■ 電源アダプター 使用上の注意 (PA-150B)

プラグ部分が外れるタイプの電源アダプターをお使いの場合は、安全にお使いいただくため、下記の注意事項をお守りください。

電源アダプターのプラグが外れてしまった場合

金属部分には手を触れず、再度、カチッと音がするまで完全に差し込んでください。



矢印の方向へスライドさせてください。

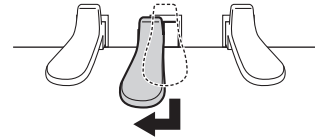
警告

- ・ 電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。特に、プラグ部分だけで使用すると、感電や火災の原因になります。
- ・ 取り付ける際、金具部分は触らないでください。また異物が入らないように注意して取り付けてください。感電やショート、故障の原因になります。

消音演奏をする

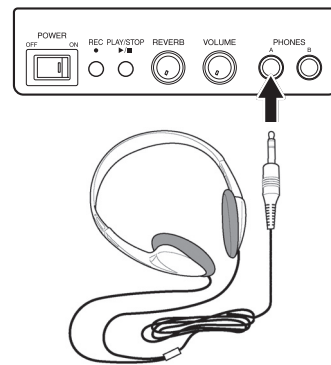
- 1** 消音ペダルを踏みながら左側にスライドさせます。

ピアノの音が消えます。



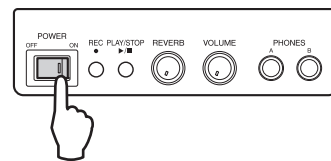
- 2** ヘッドフォン端子 (PHONES: 標準ジャック) にヘッドフォンを接続します。

ヘッドフォンは2本同時に接続できますので、演奏をもう一人の方が確認したり、連弾したりすることも可能です。



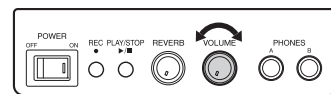
- 3** 電源スイッチ (POWER) を押して電源を入れます。

POWER ランプが緑色に点灯します。
コントロールユニット底面のオートパワーオフ機能スイッチ (AUTO OFF MODE) が OFF に設定されているときは、PLAY/STOP ランプが2秒間点灯します。



- 4** 音量ツマミ (VOLUME) を回して音量を調節します。

右に回すと音量は大きく、左に回すと小さくなります。実際に鍵盤を弾きながら音量を調節してください。



ご注意

- ・ 鍵盤を押しながら電源を入れると正しく発音されません。電源を入れるときは鍵盤から手を離してください。
- ・ 消音演奏時でもアコースティックピアノ特有の打鍵音は残ります。
- ・ 耳の保護のため、音量の上げすぎにはご注意ください。また長時間の使用は避けてください。
- ・ ヘッドフォンのケーブルを無理に引っ張ったり、プラグに極端な力を加えたりしないでください。ヘッドフォンが破損して、音が正しく出力されない原因になります。

音色を選ぶ

消音演奏では、本機の内蔵音色を使ってピアノ以外の音色で演奏することができます。

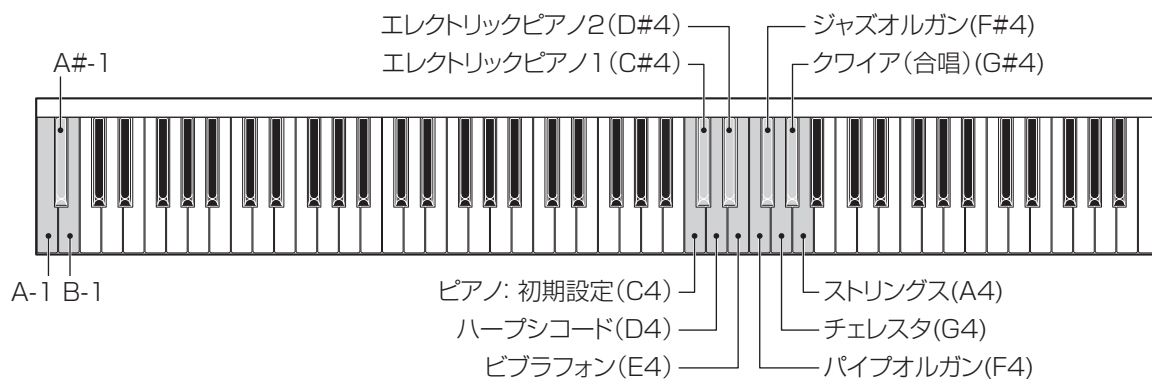
音色の種類	設定方法
ピアノ (初期設定)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C4 を押す。
ハーブシコード	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、D4 を押す。
ビブラフォン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、E4 を押す。
パイプオルガン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、F4 を押す。
チェレスタ	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、G4 を押す。
ストリングス	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、A4 を押す。
エレクトリックピアノ1	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C#4 を押す。
エレクトリックピアノ2	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、D#4 を押す。
ジャズオルガン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、F#4 を押す。
クワイア (合唱)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、G#4 を押す。

メモ

- ・ 音色の選択は電源を入れてから行ってください。
- ・ 選んだ音色は電源を切ると解除され、次に電源を入れたときはピアノ音色に戻ります。
- ・ 音色の詳細は28ページ「音色一覧」をご参照ください。
- ・ 同時に2つの音色を選ぶこともできます。12ページ「デュアルボイス」の項をご参照ください。

ご注意

- ・ 音色切り替えは演奏時のみで、再生音には使用できません。
- ・ ピアノ以外の音色では、シフト/ソフトペダルの機能は弱音機能ではなく、音色バリエーションの切り替えとなります。
- ・ 音色の切り替えに使用するため、ピアノ以外の音色では、最低音3キーの音量を意図的に下げています。



■ 音色のバリエーション

ピアノ以外の音色を選んでいるときは、音に変化をつけたバリエーションをお楽しみいただけます。バリエーションの詳細は28ページ「音色一覧」をご参照ください。

シフト/ソフトペダル（一番左端のペダル）を踏んで、ノーマル音色とバリエーション音色を切り替えます。

切り替え時にPLAY/STOPランプが瞬間的に点灯します。緑色のときはノーマル音色が、橙色のときはバリエーション音色が設定されたことを示します。

メモ

音色のバリエーションは音色ごとに切り替えでき、電源を切ると解除されます。

■ デュアルボイス

2つの音色を重ねて演奏する機能です。

同時に2つの鍵盤を押して、2つの音色を選びます。

ご注意

デュアルボイス演奏では2つの音を重ねるため、同時発音数が半分に減ります。

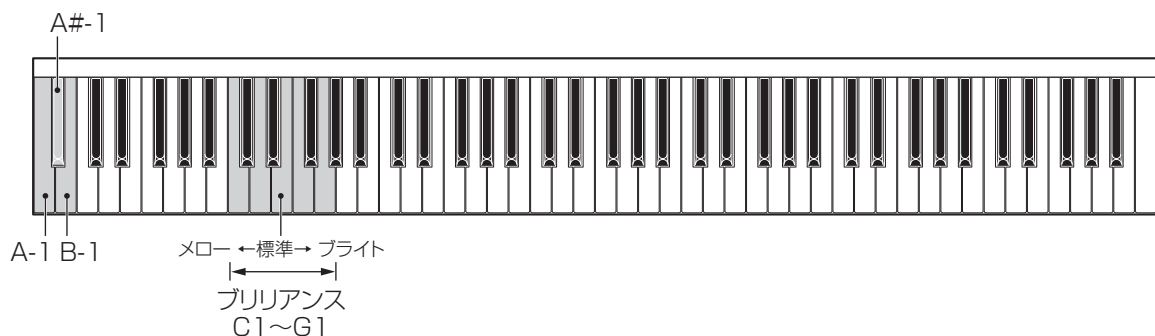
ブリリアンスを調整する

メロー（柔らかくまろやかな音）からブライト（明るく鋭い音）の間で音質を調整します。

操作	設定方法
ブリリアンスを調整する (5段階可変)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C1/D1/E1/F1/G1 のいずれかを押す。(E1 が標準で、C1 側はよりメローに、G1 側はよりブライトになります。初期設定はE1 です。)

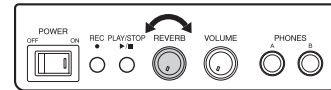
メモ

この設定はすべての音色に共通で反映され、電源を切っても保存されます。



リバーブをかける

リバーブとは、音に残響をつけて音の響きを豊かにすることです。リバーブの深さ（かかり具合）をリバーブ調整ツマミ（REVERB）で調節します。オフにしたい場合はツマミを左一杯まで絞ってください。

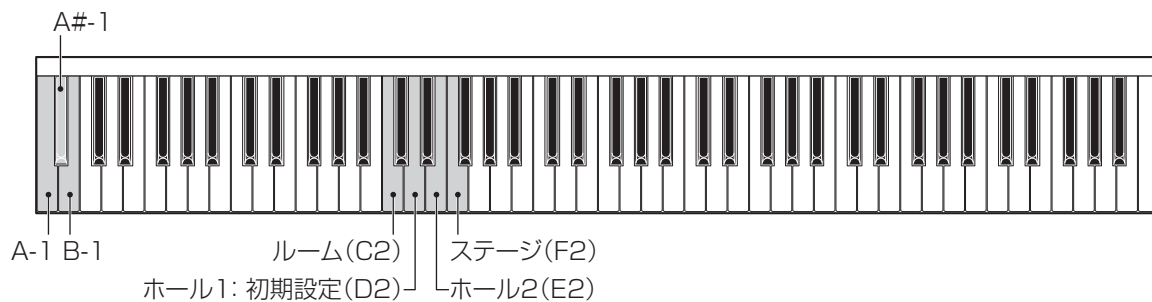


リバーブの種類を選ぶこともできます。

リバーブの種類	効果	設定方法
ルーム	響きやすい部屋の中で弾いたときのような音	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C2 を押す。
ホール 1 (初期設定)	小さなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら D2 を押す。
ホール 2	大きなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら E2 を押す。
ステージ	ステージにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら F2 を押す。

メモ

リバーブの種類の設定は電源を切ると解除され、次に電源を入れたときはホール 1 に戻ります。



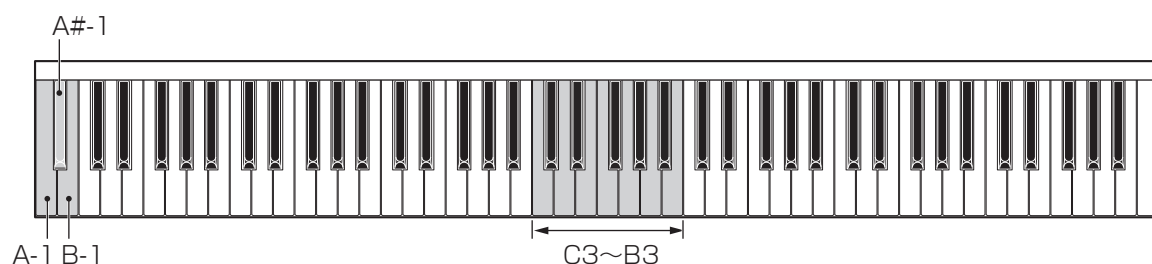
ピッチを合わせる

本機の工場出荷時のピッチ（音程）は、一般的な標準ピッチの A3=440 ヘルツに設定されています。声楽や他の楽器と合わせるときなど、あえてピッチを変更する場合は、半音を 100 セントとして上下 65 セントまで調整することができます。

操作	設定方法
ピッチを上げる	A-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
ピッチを下げる	A-1 と A#-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
工場出荷時のピッチに戻す	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。

メモ

ピッチの設定は、電源を切っても保存されます。



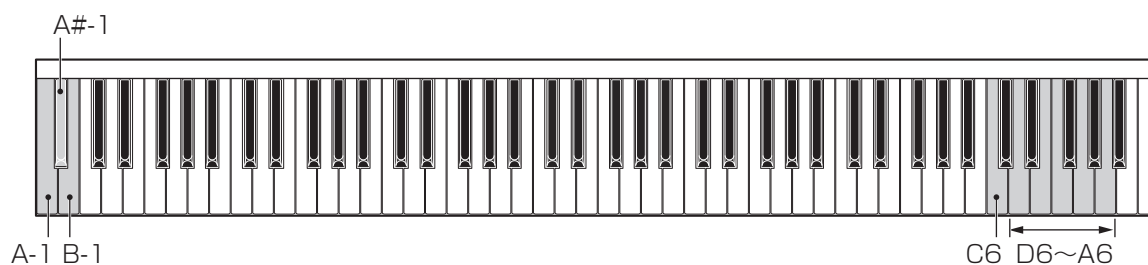
DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) をかける

DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) とは、アコースティックピアノのダンパーペダルを踏んだときのような共鳴効果のことです。

操作	設定方法
DDE をオフにする	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C6 を押す。
DDE をオンにする (5段階可変)	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、D6、E6、F6、G6、A6 いずれかの鍵盤を押す。 (効果は A6 が最も深く、D6 が最も浅くなります。初期設定は E6 です。)

メモ

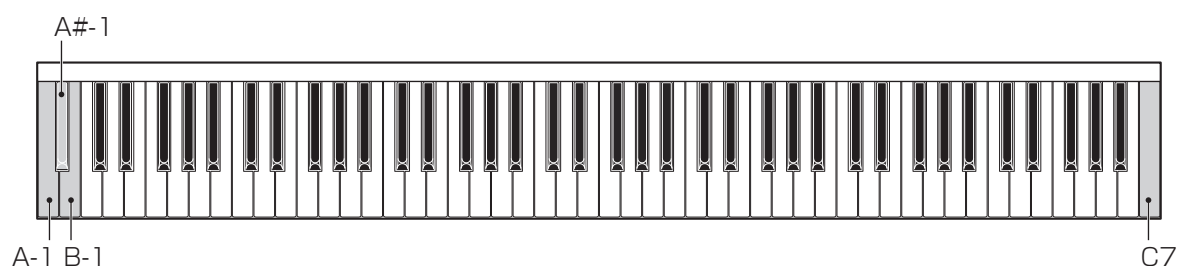
- ・ DDE の設定は、電源を切っても保存されます。
- ・ DDE をオフにしても、ダンパーペダルを踏んだときのように音は伸びますが、共鳴効果はありません。



すべての設定を工場出荷時の値に戻す (オールリセット)

すべての設定を、一度に工場出荷時の値に戻すこと (オールリセット) ができます。

A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C7 (いちばん右の白鍵) を約 1 秒間押し、一斉に鍵盤を戻します。音色のバリエーション、ブリリアンス、リバーブの種類、ピッチ、DDE の設定が工場出荷時の値に戻ります。内蔵メモリーに録音した曲は残ります。



演奏を録音する

本機は、内蔵メモリーに1曲分の録音ができます。

メモ

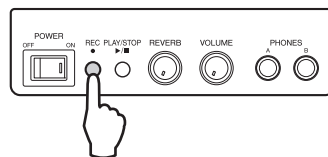
- ・ 録音の容量は約65キロバイト（約21,000音符）分で、目安としては標準的な曲で約25分、音符の密度の高い（激しい）曲で5分です。
- ・ 録音には演奏時に選ばれている音色の情報も保存されます。
- ・ 録音した曲は、電源を切っても、オールリセットをしても内蔵メモリーに残ります。

ご注意

- ・ 新規録音時には以前に録音した曲は消去されます。ただし、録音待機状態で何も演奏せずにキャンセルしたとき（下記手順1）は、以前に録音した曲は消去されません。消去したくない曲のデータは、USBメモリーで必ずバックアップを取ってください。詳細は18ページ「録音した曲をUSBメモリーに保存する」をご参照ください。
- ・ USBメモリー接続時は録音できません。あらかじめ外しておいてください。

1 録音ボタン (REC) を押します。

本機は録音待機状態になり、RECランプが赤く点灯、PLAY/STOPランプが緑色に点滅します。

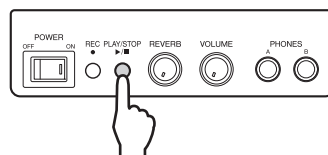


メモ

ここでもう一度録音ボタン (REC) を押すと、録音待機はキャンセルされ、通常の状態に戻ります。

2 再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

PLAY/STOPランプが緑色に点灯し、録音を開始します。

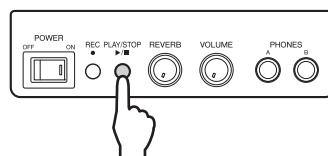


3 演奏を開始します。

録音中に内蔵メモリーの残量が少なくなるとチャイムが鳴ります。残量がなくなると、チャイムが早く鳴り、自動的にデータ書き込みを開始します。

4 演奏を終了し、再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

録音ボタン (REC) を押しても同様に録音が終了します。RECランプが素早く点滅し、データが書き込みされます。終了するとRECランプが消灯します。データの書き込みには数秒から数十秒かかります。



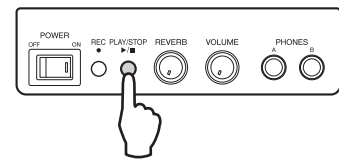
ご注意

RECランプ点滅中は電源を切らないでください。内蔵メモリーやデータが壊れるおそれがあります。

内蔵メモリーに録音した曲を再生する

本機は内蔵メモリーに録音した曲を再生できます。

再生／停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。
PLAY/STOP ランプが緑色に点灯し、再生を開始します。



再生を停止するには

再生中に再生／停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

一時停止するには

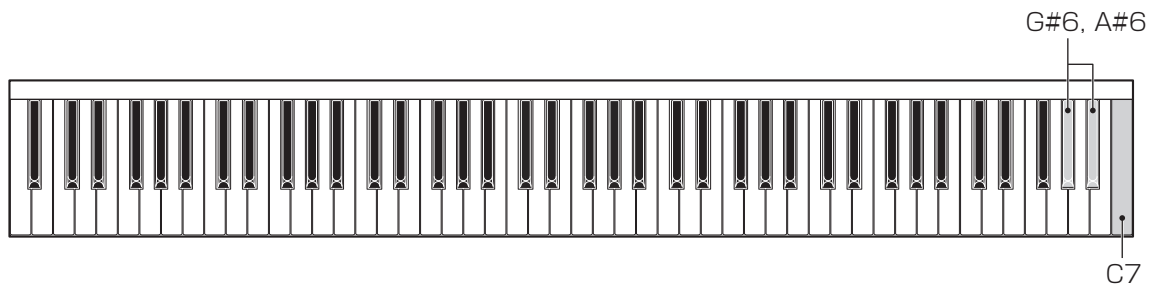
再生中に C7 を押します。PLAY/STOP ランプが点滅します。

再生を再開するには、C7 か再生／停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6 を押しながら A#6 を押します。A#6 を押している間早送りになり、PLAY/STOP ランプが速く点滅します。

A#6 を離すと操作前の状態 (再生または一時停止) に戻ります。



メモ

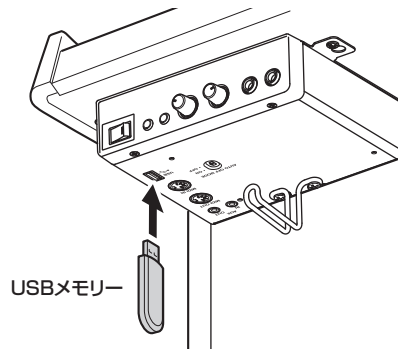
- ・ 再生、一時停止中には録音ボタン (REC) は反応しません。
- ・ USBメモリーが接続されている場合はUSBメモリーに保存されている曲を再生します。詳細は19ページ「USBメモリーの曲を再生する」をご参照ください。
- ・ 再生する曲がない場合は、3連のチャイム音が鳴ります。

USBメモリーを接続する

本機に市販のUSBメモリーを接続して、内蔵メモリーに録音した曲を保存したり、USBメモリー内に保存した曲を再生したりすることができます。

コントロールユニット底面左手のUSB端子に接続します。

自動的にUSBメモリーのチェックが始まります。チェック中はPLAY/STOPランプが橙色の早い点滅になり、終了すると薄い橙色に変わります。



ご注意

- ・ ヤマハでは、市販のUSBメモリーの動作保証はいたしません。動作確認済みの製品については弊社ウェブサイトからご確認ください。
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/devicelist/>
- ・ データの保存中にUSBメモリーを抜き差ししたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ USBメモリーを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ USBメモリーを接続しているときは、足に当たって破損しないよう十分ご注意ください。
- ・ USB端子に異物を入れないでください。使用できなくなります。
- ・ USBメモリーを使用するまえに、メモリーにプロテクトやソフトセキュリティがかかっていないかどうかお確かめください。プロテクトがかかっていると、メモリーにアクセスできません。
- ・ 楽器本体上ではUSB1.1に対応していますが、USB2.0の機器を接続して使用できます。ただし転送スピードはUSB1.1相当になりますので、ご了承ください。

録音した曲をUSBメモリーに保存する

大切な曲のデータは、USBメモリーでバックアップを取ったうえで、コンピューターなどに保存することをおすすめします。USBメモリーに保存しておくと衝撃などでデータが消えるおそれがあります。

1 本機にUSBメモリーを接続します。

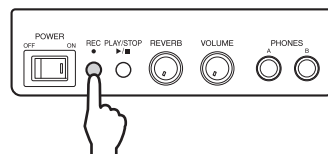
PLAY/STOPランプが橙色に点滅し、メモリーの内容チェックが終わると薄い橙色に点灯します。

2 録音ボタン (REC) を押します。

本機は転送待機状態になり、RECランプが赤く点灯、PLAY/STOPランプが橙色に点滅します。

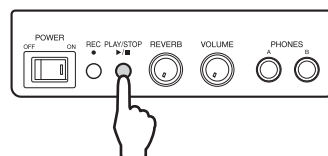
メモ

ここでもう一度録音ボタン (REC) を押すと、転送待機はキャンセルされ、通常の状態に戻ります。



3 再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

PLAY/STOPランプが速い点滅になり、内蔵メモリーからUSBメモリーへのデータの保存を開始します。データ形式を変換しながら転送するため時間がかかります (65キロバイトのフルサイズで約3~4分)。転送が終了するとRECランプは消灯し、PLAY/STOPランプは薄い橙色に戻ります。



メモ

- ・ 曲のデータは、USBメモリーの「USER FILES」というフォルダの中に「USERSONG**.MID」というファイルとして、最大50曲保存されます。**とは00~49の数字で、保存する順番に増えていきます。
- ・ 曲が溜まり、「USERSONG49.MID」まで達すると、本機ではこれ以上の保存はできず、エラーを通知します。
- ・ このフォルダ内に「USERSONG50.MID」~「USERSONG99.MID」というファイルが1つでも存在する場合もエラーとなり、保存できません。
- ・ ファイルの削除は、USBメモリーをコンピューターに接続して実施してください。本機では削除することができません。

ご注意

USBメモリーからコンピューターへデータを移動する際、ファイル名が同じ場合、過去に保存したファイルに上書きされてしまうおそれがあります。上書きしてはいけないファイルの場合は、ファイル名を変更するなどして、上書きされないように操作をしてください。

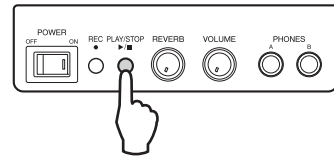
USBメモリーの曲を再生する

本機にUSBメモリーを接続した状態で再生の操作（16ページ）をすると、USBメモリーに最後に保存した曲を1曲のみ再生します。複数保存されている曲を最初から再生したり、選んで再生したりすることもできます。

■ 本機で最後に保存した曲を1曲のみ再生するには

USBメモリーを本機に接続した状態で、再生/停止ボタン（PLAY/STOP）を押します。

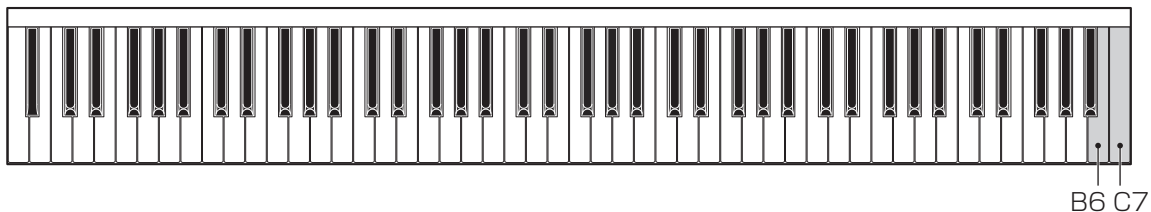
USBメモリー内に保存したファイルが見つからないときは、ほかに再生可能な曲（スタンダードMIDIファイル）を再生します。再生可能な曲がない場合は、停止状態に戻ります。



■ 複数保存されている曲を再生するには

1 USBメモリーを本機に接続した状態で、B6とC7（右端の白鍵2つ）を同時に押しながら電源を入れます。

2 電源を入れてから約1～2秒後に鍵盤を戻します。
自動的にUSBメモリーに最初に保存した曲から再生が始まります。



複数曲の再生を終了するには
電源を入れなおします。

聴きたい曲を選ぶには（ダイレクト選曲）

A-1 を押しながら、C0 から C#4 間の聴きたい曲番号に相当する鍵盤を押します。

- ・ USBメモリーの「USER FILES」フォルダにある「USERSONG**.MID」（**は00～49の数字）がC0からC#4間の左から順に割り当てられます。
- ・ 上記以外の鍵盤も同時に押ししまうと選曲されません。
- ・ 停止中に曲を選ぶと、次に再生するときに選んだ曲から始まります。

曲間を移動するには

ひとつ前の曲を選ぶにはF#6を、ひとつ後の曲を選ぶにはA#6を押します。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6を押しながらA#6を押します。音を出しながら早送りができます。

一時停止するには

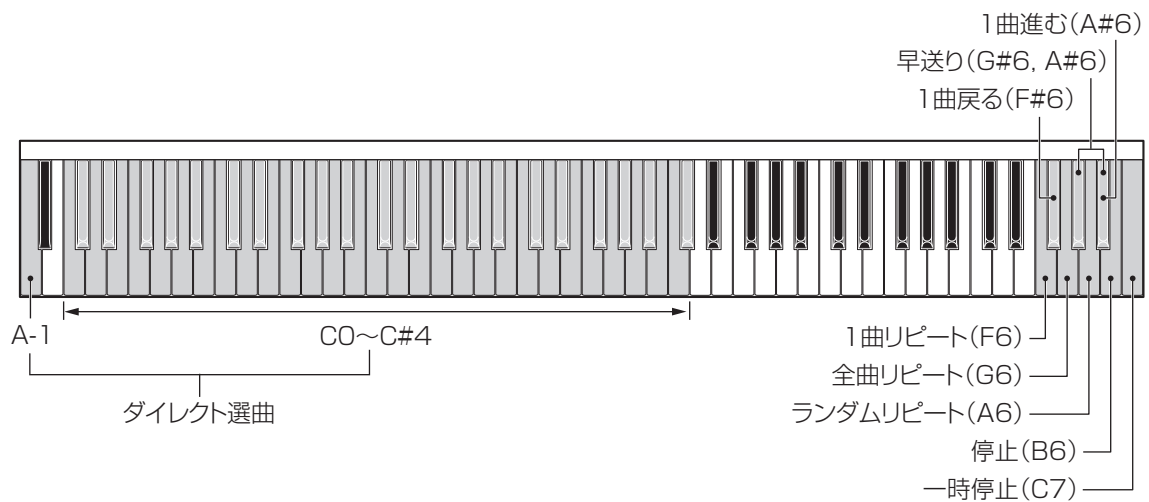
次に再生するときに、一時停止したところから再生を始めたいときに使用します。
再生中にC7を押します。また、再開するときもC7を押します。一時停止中は再生の再開/停止以外の操作はできません。

停止するには

次に再生するときに、1曲目から再生を始めたいときに使用します。
再生中にB6またはコントロールユニット前面の再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。
再開するときは再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押します。

リピート (繰り返し) モードを設定するには

1曲リピートするにはF6を、全曲リピートするにはG6を、ランダム (任意の曲順で) リピートするにはA6を押します。初期設定は全曲リピートです。



メモ

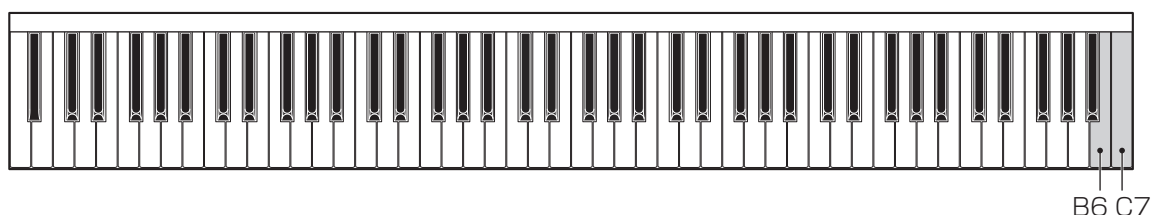
- ・ USBメモリー内の曲を最大50曲まで再生します。
- ・ 曲順は、USBメモリーの「USER FILES」フォルダにある「USERSONG**.MID」のなかで、**の2桁の数字 (00~99) が小さいファイルから順に再生されます (通常は本機からUSBメモリーへデータを保存した順に再生されます)。この曲数が50曲に満たない場合、「USER FILES」フォルダ内、ルートフォルダおよび2階層までのフォルダからMIDIファイルをUSBメモリーへのデータ保存順に検索し、再生します。
- ・ USBメモリー内に再生する曲がない場合は、3連のチャイム音が鳴ります。
- ・ 詳しい再生順序については、30ページ「MIDIファイルの再生順序」をご参照ください。
- ・ 漢字など、全角文字が入ったファイル名はエラーとなり、再生できません。
- ・ 本体への録音やUSBメモリーへの保存をする場合は、電源を入れなおしてください。

試聴曲を再生する（試聴モード）

本機に内蔵されている試聴曲（ピアノ名曲50選）を再生できます。再生の際は、ヘッドフォンまたは市販のアンプ内蔵スピーカー（外部出力）をご使用ください。

1 B6とC7（右端の白鍵2つ）を同時に押しながら電源を入れます。

2 電源を入れてから約1～2秒後に鍵盤を戻します。
自動的に第1曲目から再生が始まります。



試聴モードを終了するには
電源を入れなおします。

聴きたい曲を選ぶには（ダイレクト選曲）

A-1 を押しながら、C0 から C#4 間の聴きたい曲番号に相当する鍵盤を押します。

- ・ 各曲に対応する鍵盤は29ページ「試聴曲一覧」をご参照ください。
- ・ 上記以外の鍵盤も同時に押ししてしまうと選曲されません。
- ・ 停止中に曲を選ぶと、次に再生するときに選んだ曲から始まります。

曲間を移動するには

ひとつ前の曲を選ぶにはF#6を、ひとつ後の曲を選ぶにはA#6を押します。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6 を押しながらA#6 を押します。音を出しながら早送りができます。

一時停止するには

次に再生するときに、一時停止したところから再生を始めたときに使用します。

再生中にC7を押します。また、再開するときもC7を押します。一時停止中は再生の再開／停止以外の操作はできません。

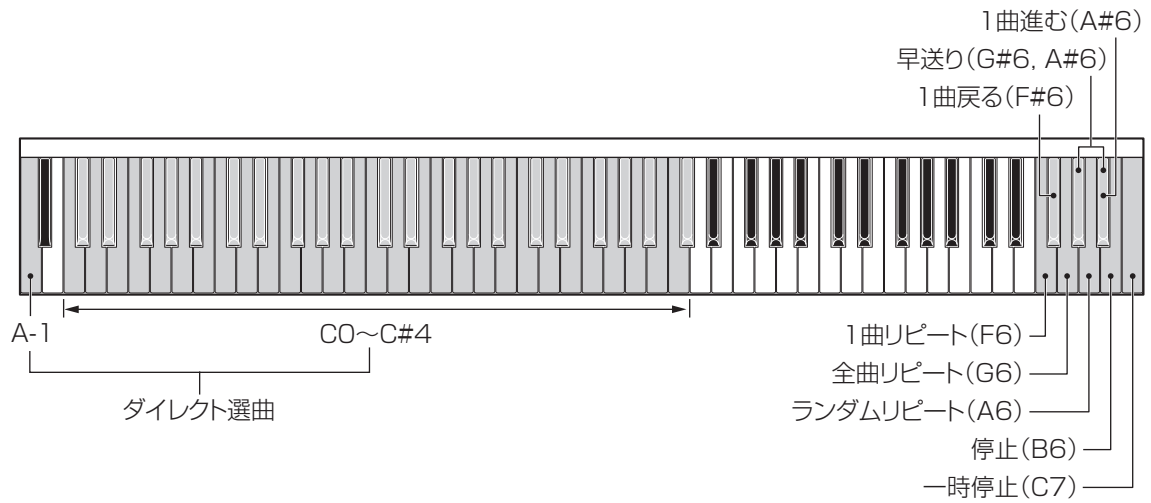
停止するには

次に再生するときに、1曲目から再生を始めたときに使用します。

再生中にB6またはコントロールユニット前面の再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押します。再開するときは再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押します。

リピート（繰り返し）モードを設定するには

1 曲リピートするには F6 を、全曲リピートするには G6 を、ランダム（任意の曲順で）リピートするには A6 を押します。初期設定は全曲リピートです。



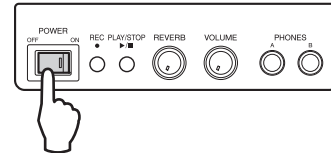
メモ

- ・ 試聴曲モードにしたあと、再生・停止はコントロールユニットの再生／停止ボタン（PLAY/STOP）でも操作できます。
- ・ 鍵盤を戻すタイミングによっては、試聴モードにならないことがあります。
- ・ 試聴モードでは録音やUSBメモリーへの保存はできません。電源を入れなおしてください。
- ・ 試聴曲をUSBメモリーに転送することはできません。

他のオーディオ機器と接続する

ご注意

本機と他の機器との接続は、必ず両方の電源を切った状態で行ってください。



メモ

本機のAUX IN/AUX OUT端子はステレオミニジャックです。端子に対応したケーブルでない場合は変換アダプターが必要になります。ケーブル、アダプターは抵抗の無いものをお使いください。

■ AUX OUT端子の使用例

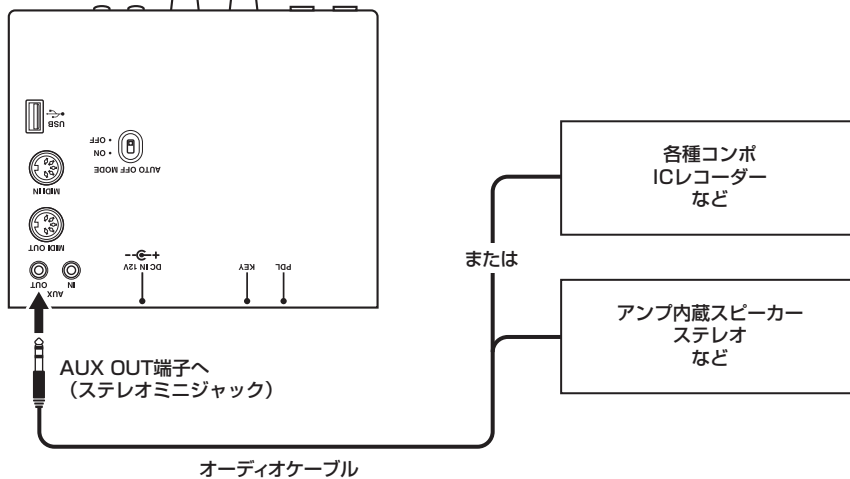
各種コンボやICレコーダーに接続すると

本機の消音演奏を録音できます。

アンプ内蔵スピーカーやステレオに接続すると

本機の消音演奏をスピーカーで聴くことができます。この端子からはヘッドフォンで聴くものと同じ音声信号が出力されます。

コントロールユニット底面

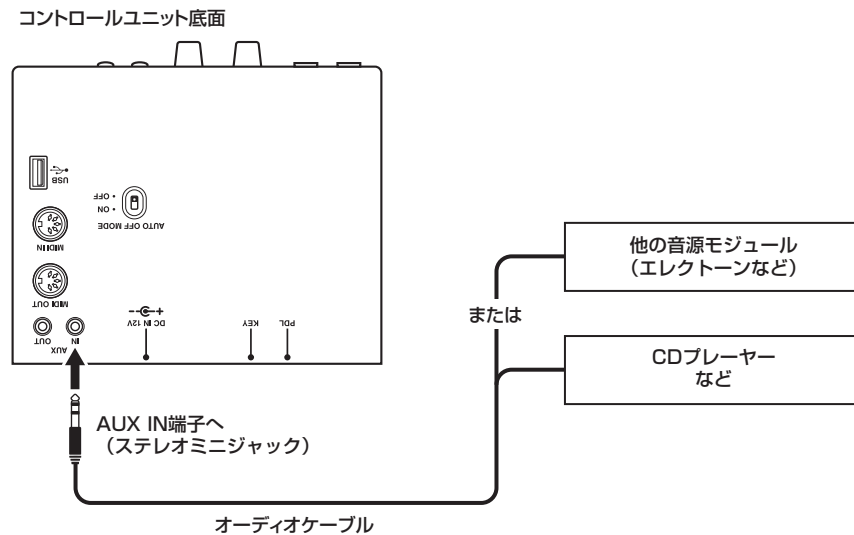


■ AUX IN 端子の使用例

他の音源モジュールや再生機器（CDプレーヤーなど）に接続すると

接続機器からの入力音声に合わせて消音演奏ができます。

本機の音量つまみ（VOLUME）はAUX IN 端子から入力された音と、本機の電子音の両方を調整
できます。2つの音声のバランスは、接続機器の出力音量で調整してください。



ご注意

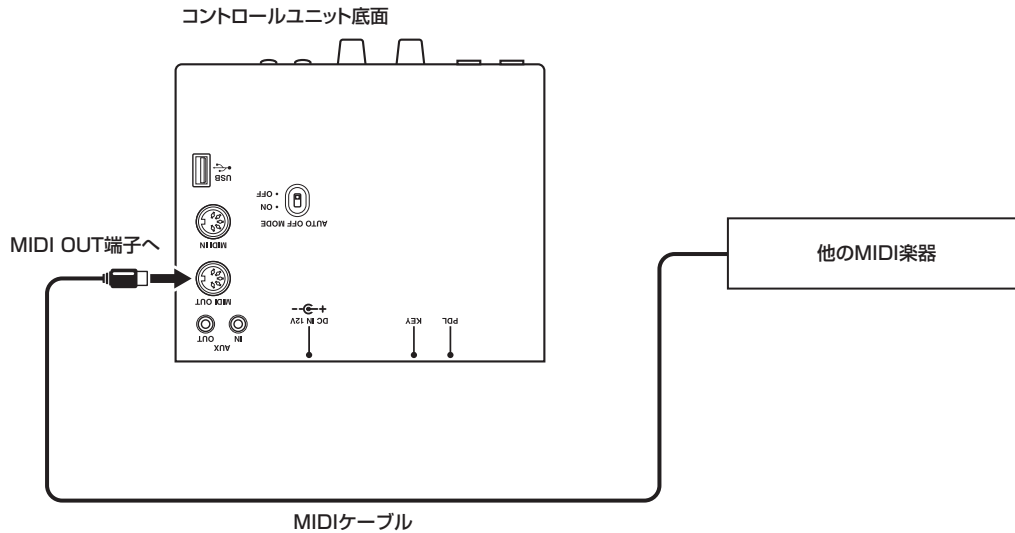
AUX OUT 端子をアナログ録音機器の入力端子に接続したときは、同時に接続先機器の出力端子と本機のAUX IN 端子を接続しないでください。オーディオ信号のフィードバック（発振）が起こり、両機器の故障の原因になります。

他のMIDI 機器と接続する

■ MIDI OUT 端子の使用例

他のMIDI楽器に接続すると

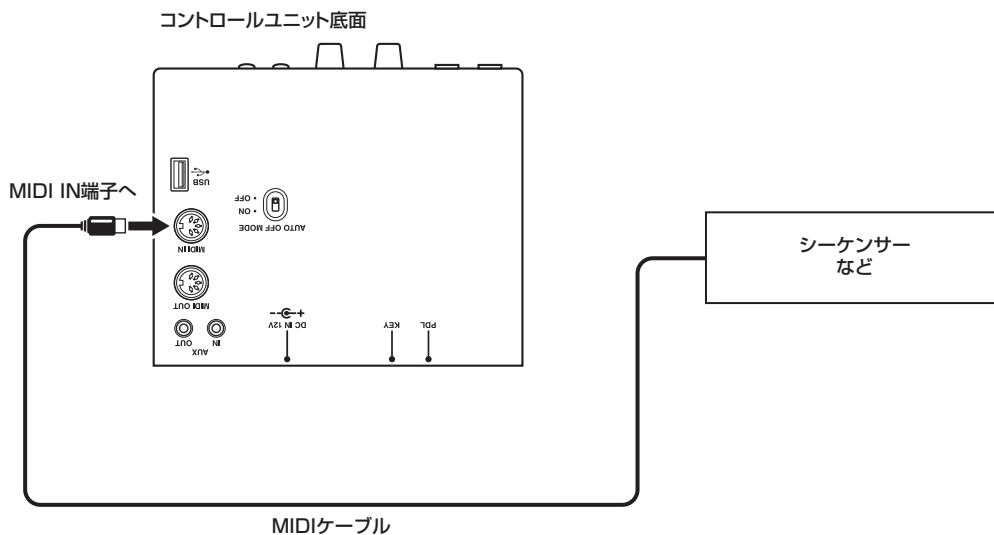
本機から演奏情報を送り、シンセサイザーなど他のMIDI機器の音源モジュールで再生できます。



■ MIDI IN 端子の使用例

シーケンサーに接続すると

接続機器から演奏情報を受け取り、本機の音源で再生できます。



メモ

鍵盤、ペダルの演奏情報の他、音色切り替え、リバーブの深さの情報を送受信します。MIDI送信は1チャンネル、受信は1、2チャンネルの両方となります。

故障かな？と思ったら

本機が正常に動作しない場合は、以下の項目をご確認ください。下記を試しても改善されなかったり、下記以外の異常がある場合は、お買い上げ店または最寄りのヤマハ特約楽器店までご連絡ください。ご自分で本機およびACアダプターの内部を開けたり、分解、改造したりしないでください。

🔊 電源を入れても音がしない。

- － ACアダプターが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。
- － 音量ツマミが左一杯の位置になっているかもしれません。適正位置に調整してください。標準音量は、音量ツマミが時計の3時の位置になるように設定されています。

🔊 電源ランプはつくが音が出ない、ペダルがきかない。

- － コントロールユニット背面にあるキーセンサーとペダルセンサー端子の接続が抜けているかもしれません。コントロールユニット下側の印字 (KEY、PDL) にそれぞれ対応する端子 (KEY、PDL) を確実に差し込んでください (7ページ)。

🔊 消音演奏時にもアコースティックピアノの音が出る。

- － 極度に強く打鍵するとアコースティックピアノの音が出る場合があります。打鍵の強さを加減してください。

🔊 市販のヘッドフォンで聴くと音のバランスが異なる。

- － ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによってはバランスが異なることがあります。

🔊 市販のヘッドフォンで聴くと音量が異なる。

- － ヘッドフォンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドフォンによっては音量が異なることがあります。

🔊 消音演奏時にピアノの本体からカタカタという音がする。

- － 故障ではありません。アコースティックピアノ本来の打鍵音です。

🔊 消音演奏の連打時に演奏と異なる強音が発音する。

- － 消音機構の構造上発生する場合があります、故障ではありません。

🔊 リバーブがかからない。

- － リバーブ深さツマミが、左一杯の位置になっているかもしれません。適度な深さに設定してください (13ページ)。

🔊 音が残りすぎる。(残響がかかりすぎる。)

- － リバーブ設定、DDE設定が深すぎるかもしれません。適度な深さに設定してください (13、14ページ)。

🔊 他の楽器とピッチが合わない。

- － 本機はピッチを調整して他の楽器に合わせることができます (13ページ)。

🔊 再生も録音もしていないのにパネルのボタンが点灯している。

- － USBメモリーが接続されているとき、ボタンが暗く点灯します (17、19ページ)。

🔊 **USB メモリーが反応しない。**

- － 一度本機から外し、再び接続してください。
- － USB メモリーを端子に接続したときにPLAY/STOPランプが橙色に点滅するか確認します。ランプが点滅しなければ、そのメモリーは壊れている可能性があります(17ページ)。
- － お使いのUSBメモリーが動作確認済みの機種かどうかを確認してください(17ページ)。

🔊 **試聴モードで電源を入れたとき、USBメモリーを接続しているのに内蔵試聴曲が少し再生され、その後USBメモリーの曲が再生される。**

- － ご利用のUSBメモリーによっては認識に時間がかかり、認識中に内蔵試聴曲が再生されることがありますが、故障ではありません。

🔊 **USBメモリーに保存した曲を再生できない。**

- － 曲のデータ容量が大きすぎるとロードできず、再生するとエラーとなる場合がありますが、故障ではありません。

🔊 **電源スイッチはオンになっているが、電源が入っていない。**

- － オートパワーオフ機能が有効になっています。コントロールユニット前面の電源スイッチをいったんオフにして、電源を入れなおしてください(8ページ)。

エラー通知について

本機では、以下のようなエラーが発生したときに3回連続のチャイム音と2つのランプの速い点滅でお知らせします。エラー通知は、録音ボタン (REC) か再生/停止ボタン (PLAY/STOP) を押すと停止します。

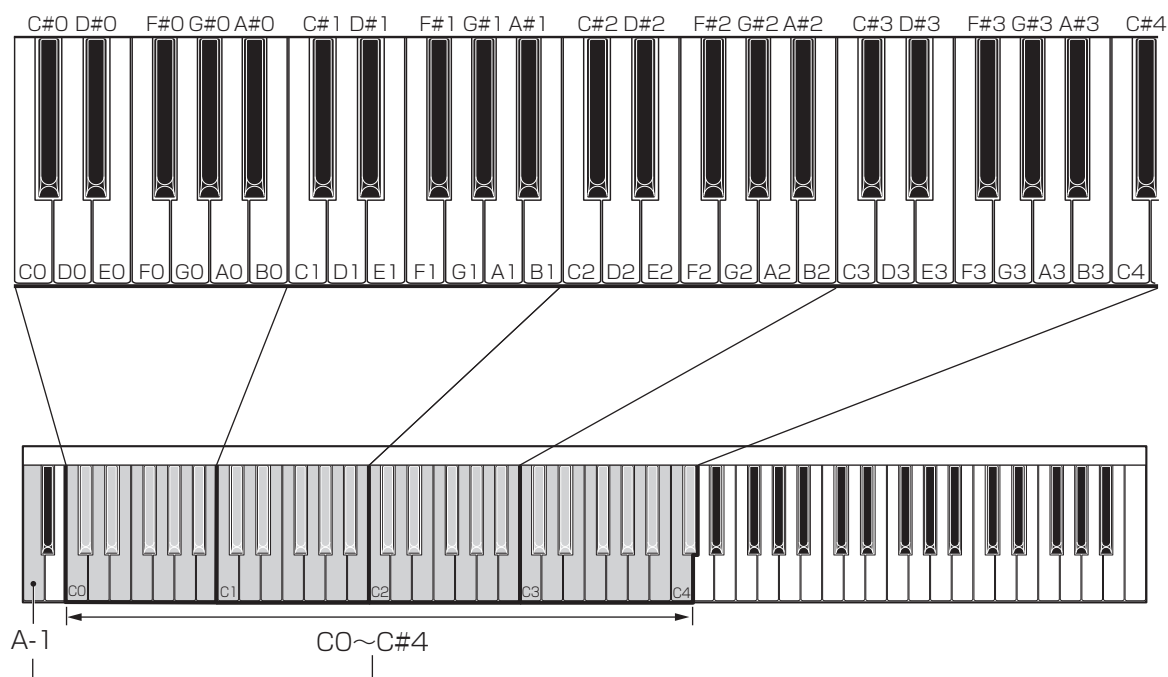
- ・ USBメモリーが壊れているのでアクセスできません。
- ・ 曲のデータが壊れています。
- ・ 曲のデータ容量が大きすぎて読み込みできません。
- ・ 処理中に電源が切られたため、内蔵メモリーが初期化されました。ご自身で録音した曲が消去されています(初期化中は、エラー通知を停止することはできません)。
- ・ USBメモリーの容量がいっぱいで、曲を保存できません。
- ・ USBメモリーがライトプロテクト(書き込み禁止)されているようです。

音色一覧

音色名	指定鍵盤	音色の特長	バリエーション
ピアノ	C4	ヤマハコンサートグランドピアノからサンプリングしました。繊細なピアノシモから、迫力あるフォルテシモまで、幅広い表現が可能です。ダンパーペダル使用時の弦の共鳴による広がり感も再現しています。	ピアノではバリエーション設定はありません。左ペダルは、ソフト（シフト）ペダルの効果がかかります。
ハープシコード	D4	バロック音楽で使用された音です。タッチによって音量、音色が変化しません。鍵盤を離れた時に独特の音が発生するところもリアルに表現しています。	オクターブ上の弦の音がミックスされ、より華やかな音となっています。
ビブラフォン	E4	比較的柔らかなマレットで叩いたビブラフォンの音です。	ファンを回転させて、ビブラートをかけた音です。
パイプオルガン	F4	バッハの「トッカータとフーガ」で有名な壮麗なパイプオルガンの音です。	バロック時代の教会音楽に適した、プリンシパル系の落ち着いた音のあるパイプオルガンの音です。
チェレスタ	G4	チャイコフスキー「くるみ割り人形」の中の「こんべいとうの踊り」などで有名な鍵盤式の鉄琴です。オルゴールのようなかわいらしい音が魅力です。ピアノよりも音域を1オクターブ上にしてありますので、チェレスタならではの魅力的な高音を楽しむことができます。	音域をピアノと同じに合わせてあります。
ストリングス	A4	雰囲気一杯の弦楽合奏の音です。ピアノ音とデュアルで音を重ねても効果的です。	音の立ち上がりを少しなだらかにしました。
エレクトリックピアノ1	C#4	FM シンセサイザーによる電子ピアノで、ポップスで広く使用されるタイプの音です。ピアノ音とデュアルで音を重ねても効果的です。	コーラス効果が付加されて、空間的な広がり感が増します。
エレクトリックピアノ2	D#4	金属板をハンマーで叩く電気ピアノの音です。弱打の柔らかい音から強打のやや歪んだ音まで、ダイナミックに変化します。ポップスやジャズで多用されています。	フェイザー効果が付加されて、空間的な広がり感が増します。
ジャズオルガン	F#4	歯車回転式の電気オルガンの音です。ジャズやロックで広く用いられます。	左ペダルを踏むと、ロータリースピーカー（ビブラート）のスピードが、高速に切り替わります。
クワイア	G#4	空間に広がる合唱の音です。ピアノ音とデュアルで音を重ねても効果的です。	音の立ち上がりを少しなだらかにしました。

試聴曲一覧

曲番号(鍵盤)	曲名/作曲者名	曲番号(鍵盤)	曲名/作曲者名
1(C0)	インベンション第1番/バッハ	26(C#2)	革命のエチュード/ショパン
2(C#0)	インベンション第8番/バッハ	27(D2)	小犬のワルツ/ショパン
3(D0)	ガボット/バッハ	28(D#2)	ワルツ第7番/ショパン
4(D#0)	前奏曲(平均律第1巻第1番)/バッハ	29(E2)	ワルツ第9番「告別」/ショパン
5(E0)	メヌエット長調/バッハ	30(F2)	夜想曲第2番変ホ長調/ショパン
6(F0)	かっこう/ダカン	31(F#2)	トロイメライ/シューマン
7(F#0)	ピアノソナタ第15番第1楽章/モーツァルト	32(G2)	楽しき農夫/シューマン
8(G0)	トルコ行進曲/モーツァルト	33(G#2)	乙女の祈り/バダジェフスカ
9(G#0)	メヌエット長調/モーツァルト	34(A2)	人形の夢と目覚め/オースティン
10(A0)	リトル・セレナーデ/ハイドン	35(A#2)	アラバスク/ブルグミュラー
11(A#0)	ソナタ第1番 終楽章「無窮動」/ウェーバー	36(B2)	牧歌/ブルグミュラー
12(B0)	エコセーズ/ベートーヴェン	37(C3)	貴婦人の乗馬/ブルグミュラー
13(C1)	エリーゼのために/ベートーヴェン	38(C#3)	愛の夢第3番/リスト
14(C#1)	トルコ行進曲/ベートーヴェン	39(D3)	花の歌/ランゲ
15(D1)	「悲愴」第2楽章/ベートーヴェン	40(D#3)	舟歌/チャイコフスキー
16(D#1)	「月光」第1楽章/ベートーヴェン	41(E3)	へ調のメロディ/ルビンシュタイン
17(E1)	ピアノソナタ第20番ト長調第1楽章/ ベートーヴェン	42(F3)	ユーモレスク/ドヴォルザーク
18(F1)	即興曲作品90第2番/シューベルト	43(F#3)	タンゴ(スペインより)/アルベニス
19(F#1)	楽興の時第3番/シューベルト	44(G3)	エンターテイナー/ジョブリン
20(G1)	春の歌/メンデルスゾーン	45(G#3)	メイプル・リーフ・ラグ/ジョブリン
21(G#1)	狩人の歌/メンデルスゾーン	46(A3)	亜麻色の髪の乙女/ドビュッシー
22(A1)	幻想即興曲/ショパン	47(A#3)	アラバスク第1番/ドビュッシー
23(A#1)	雨だれの前奏曲/ショパン	48(B3)	月の光/ドビュッシー
24(B1)	黒鍵のエチュード/ショパン	49(C4)	夢/ドビュッシー
25(C2)	別れの曲/ショパン	50(C#4)	ケーキウォーク/ドビュッシー



試聴モード(21ページ)に切り替えたあと、A-1を押しながら、聴きたい曲番号に相当する鍵盤を押します。

各音色のMIDIデータ（プログラムチェンジナンバー）

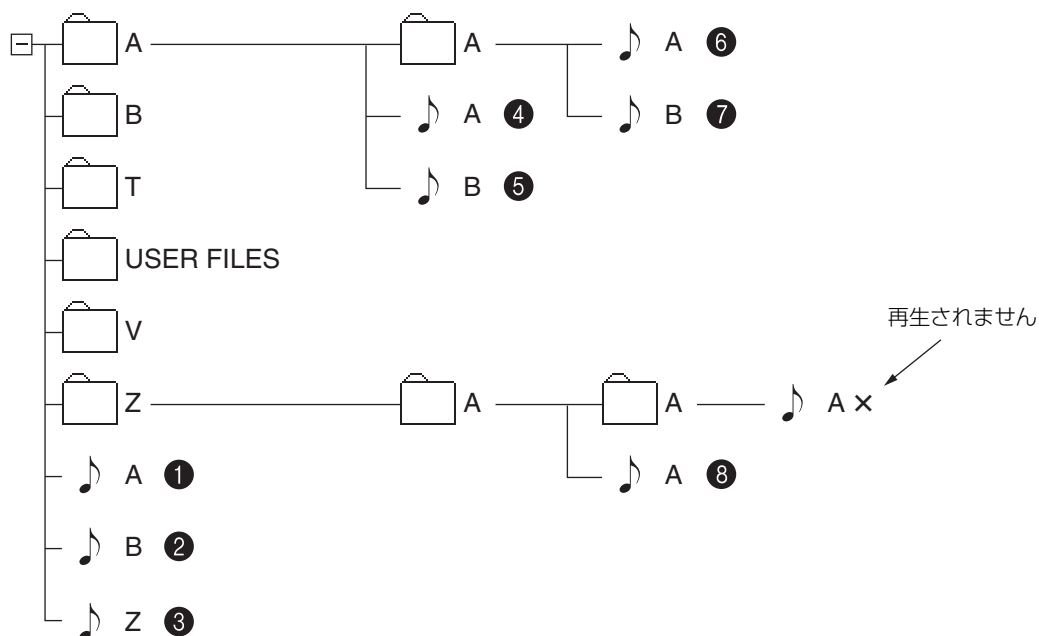
音色名	MSB	LSB	P.C.#
ピアノ	0	112	1
ハーブシコード	0	112	7
同上（バリエーション）	0	113	7
ビブラフォン	0	112	12
エレクトリックピアノ1	0	112	6
エレクトリックピアノ2	0	112	5
パイプオルガン	0	112	20
同上（バリエーション）	0	113	20
チェレスタ	0	112	9
同上（バリエーション）	0	113	9
ジャズオルガン	0	112	17
ストリングス	0	112	49
同上（バリエーション）	0	113	49
クワイア	0	112	53
同上（バリエーション）	0	113	53

MSB, LSB (Bank Select), 0 ~ 127

P.C.# = Program Change Number, 1 ~ 128

MIDI ファイルの再生順序

以下は、「USERSONG**.MID」が見つからない、あるいは50曲に満たない場合の、「USER FILES」検索後の再生順序例を示したものです。ルートおよび2階層までのフォルダから、USBメモリーへの保存順にMIDIファイルを検索します。



仕様

鍵盤数		88 鍵
ペダル		ダンパーペダル、消音ペダル、ソフトペダル
センサーユニット	キーセンサー	非接触 連続検出 光センサー
	ペダルセンサー	ダンパーペダル：連続検出 ソフトペダル：ON/OFF 検出
消音システム	消音方式	ハンマーシャンクストッパー方式（消音ペダル）
音源／音色	音源方式	AWM 音源
	最大同時発音数※	64 音、ステレオサンプリング 32 音、16 音（ダンパーペダル共鳴効果あり）
	音色数	10
	音色	ピアノ、ハーブシコード、ビブラフォン、パイプオルガン、チェレスタ、ストリングス、エレクトリックピアノ1、エレクトリックピアノ2、ジャズオルガン、クワイア
機能		ヘッドフォン音量調整
		音色切り替え（10種類）
		音色バリエーション切り替え
		デュアルボイス
		ブリリアンス調整（5段階）
		リバーブ切り替え（ルーム、ホール1、ホール2、ステージ）
		リバーブ調整
		ピッチ調整（- 65 セント～+ 65 セント）
		DDE（ダンパーペダル共鳴効果）調整（5段階）
		オールリセット
		録音
		再生
		オートパワーオフ
試聴曲		ピアノ名曲50選（プリセット曲）
端子	オーディオ	ヘッドフォン端子（標準ジャック×2）、AUX IN 端子（ステレオミニジャック）、AUX OUT 端子（ステレオミニジャック）
	MIDI	MIDI IN 端子、MIDI OUT 端子
	その他	USB 端子（USB TO DEVICE）、電源入力端子（DC IN 12V）
電源	定格電源電圧	AC100V、50/60Hz
	消費電力	8W（DC12V）（PA-150A使用時）
付属品		ACアダプター（PA-150AまたはPA-150B）、ヘッドフォン、ヘッドフォンハンガー、ヘッドフォンハンガー取り付けネジ、取扱説明書

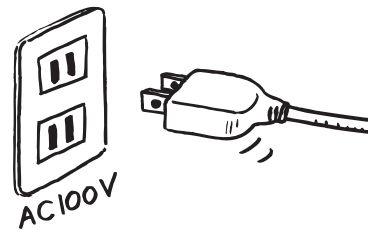
- ※ 64 音：エレクトリックピアノ2、ジャズオルガン
 16 音：パイプオルガン（バリエーションを除く）、ハーブシコード（バリエーションのみ）
 32 音：上記以外の音色

取り扱いについて

ここに記載されているイラストは、お客様が購入された製品と形状が異なる場合があります。

■ 電源について

必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください（本機は日本国内仕様です）。長期間ご使用にならないときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ ACアダプター、ヘッドフォン等のコード類について

コードの上に物を置いたり、ピアノのふたに挟みこんだりしないでください。コードを抜き差しするときは、必ず電源を切ってください。コードを抜くときは、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。



■ 落雷のおそれがあるときは？

早めにコンセントからACアダプターの電源プラグを抜き取ってください。



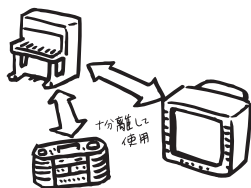
■ 水に濡れたときは？

万一雨が降ったり、水をこぼしてしまったときは、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また、煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。



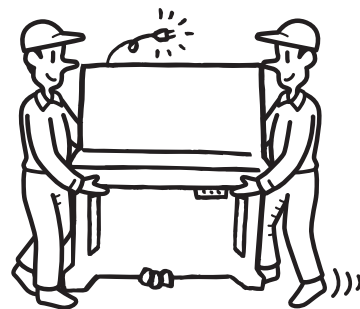
■ 他の電気機器への影響は？

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。



■ 移動するときは？

ACアダプター、コード類をすべて外してから移動します。ピアノの運搬・移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。



■ 故障かな？と思ったら

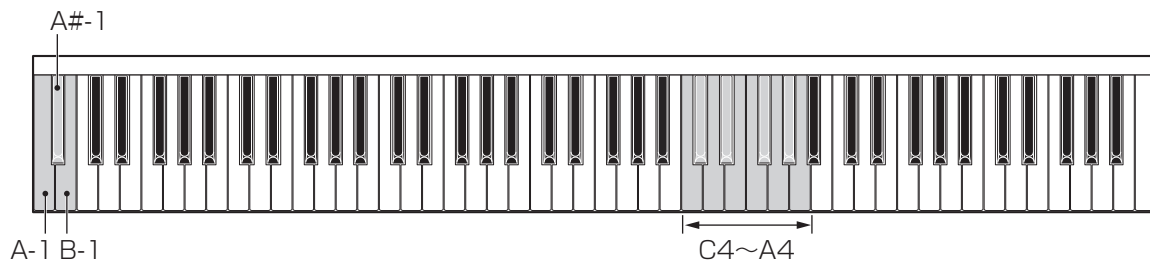
ACアダプターがきちんと接続されていないか、意外なところで操作を誤っている場合があります。本書26ページ「故障かな？と思ったら」をご参照ください。



鍵盤操作一覧

■ 音色を選ぶ

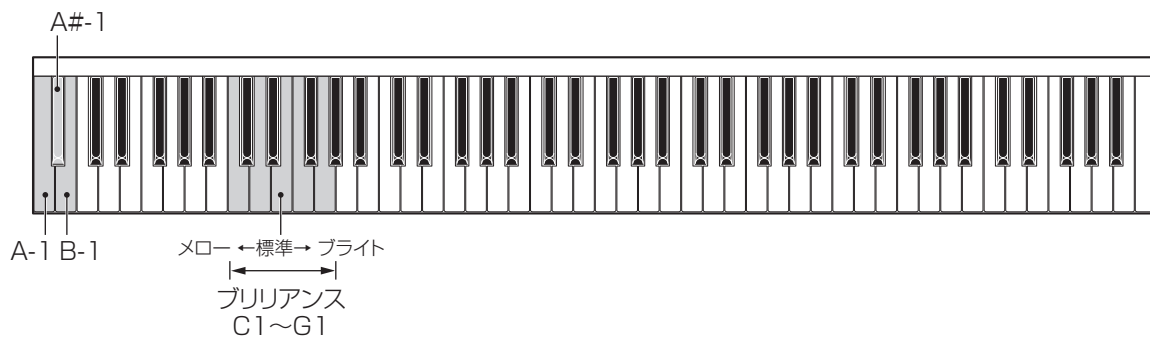
音色の種類	設定方法
ピアノ (初期設定)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C4 を押す。
ハーブシコード	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、D4 を押す。
ビブラフォン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、E4 を押す。
パイプオルガン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、F4 を押す。
チェレスタ	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、G4 を押す。
ストリングス	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、A4 を押す。
エレクトリックピアノ1	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C#4 を押す。
エレクトリックピアノ2	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、D#4 を押す。
ジャズオルガン	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、F#4 を押す。
クワイア (合唱)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、G#4 を押す。



⇒詳しくは11ページをご覧ください。

■ ブリリアンスを調整する

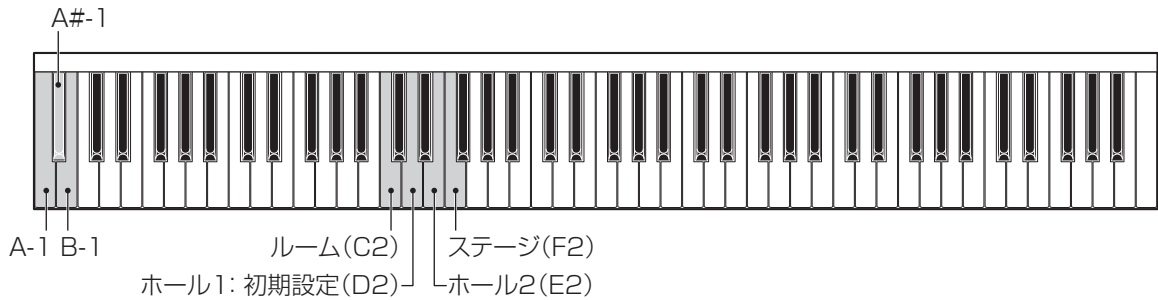
操作	設定方法
ブリリアンスを調整する (5段階可変)	A-1、A#-1、B-1 を押しながら、C1/D1/E1/F1/G1 のいずれかを押す。(E2が標準で、C1側はよりメローに、G1側はよりブライトになります。初期設定はE1です。)



⇒詳しくは12ページをご覧ください。

■ リバースをかける

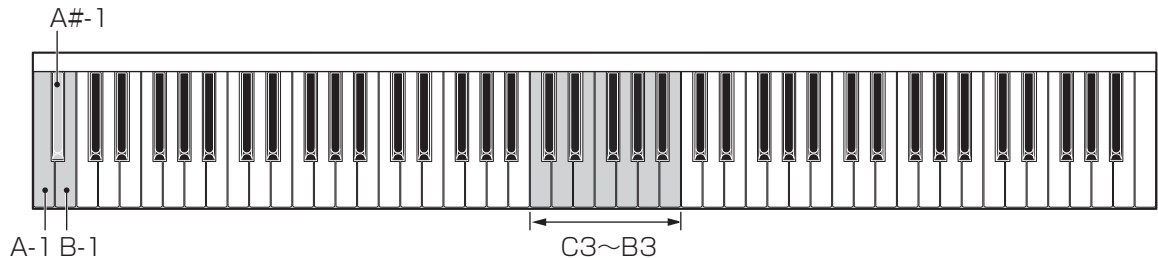
リバースの種類	効果	設定方法
ルーム	響きやすい部屋の中で弾いたときのような音	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C2 を押す。
ホール 1 (初期設定)	小さなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら D2 を押す。
ホール 2	大きなコンサートホールにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら E2 を押す。
ステージ	ステージにいるような響き	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら F2 を押す。



⇒詳しくは 13 ページをご覧ください。

■ ピッチを合わせる

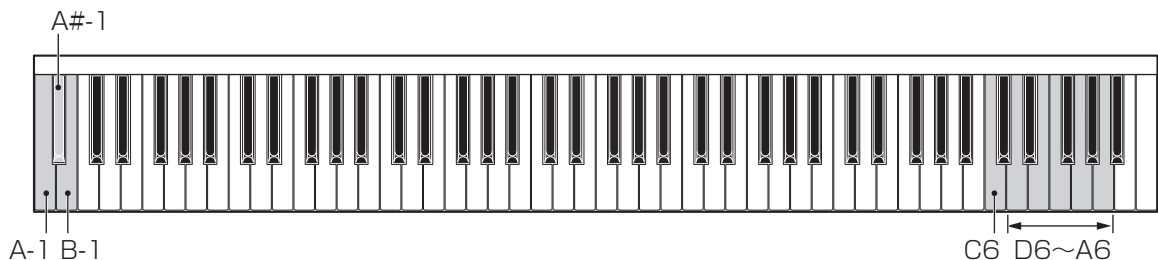
操作	設定方法
ピッチを上げる	A-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
ピッチを下げる	A-1 と A#-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。
工場出荷時のピッチに戻す	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、C3 から B3 までのいずれかの鍵盤を押す。



⇒詳しくは 13 ページをご覧ください。

■ DDE (ダイナミック・ダンパー・エフェクト) をかける

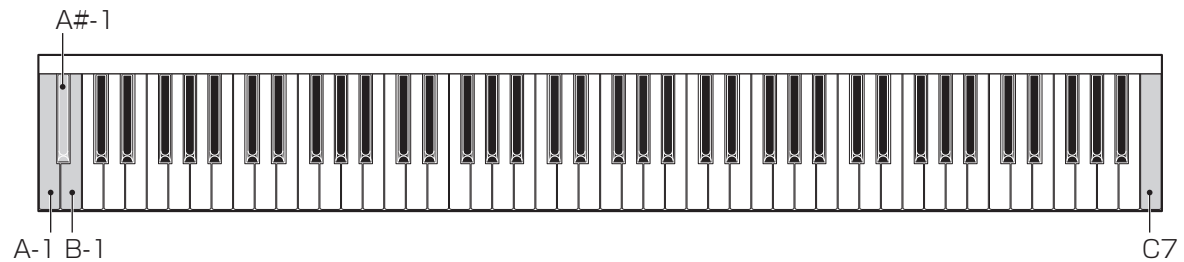
操作	設定方法
DDE をオフにする	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C6 を押す。
DDE をオンにする (5段階可変)	A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら、D6、E6、F6、G6、A6 いずれかの鍵盤を押す。 (効果は A6 が最も深く、D6 が最も浅くなります。初期設定は E6 です。)



⇒詳しくは 14 ページをご覧ください。

■ すべての設定を工場出荷時の値に戻す（オールリセット）

A-1 と A#-1 と B-1 を押しながら C7（いちばん右の白鍵）を押す。

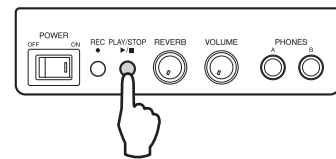


⇒詳しくは 14 ページをご覧ください。

■ 内蔵メモリーに録音した曲を再生する

再生をするには

再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。



再生を停止するには

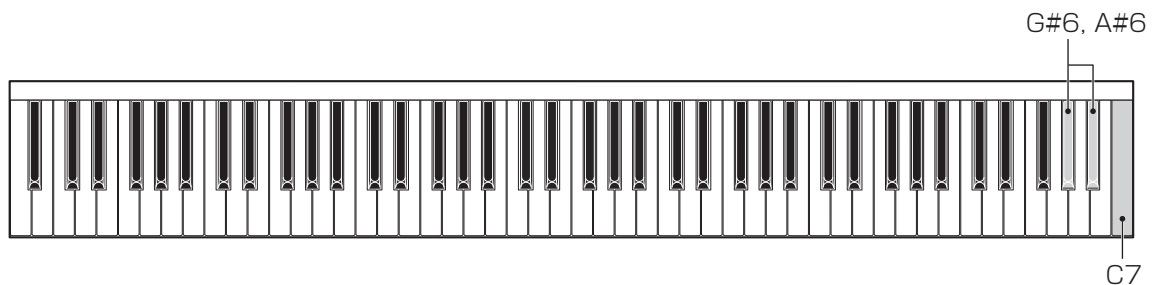
再生中に再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。

一時停止するには

再生中に C7 を押す。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6 を押しながら A#6 を押す。



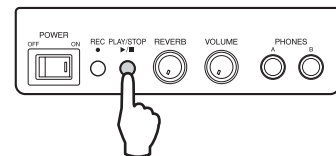
⇒詳しくは 16 ページをご覧ください。

■ USBメモリーの曲を再生する

〈本機で最後に保存した曲を 1 曲のみ再生する場合〉

USBメモリーを本機に接続した状態で、再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。

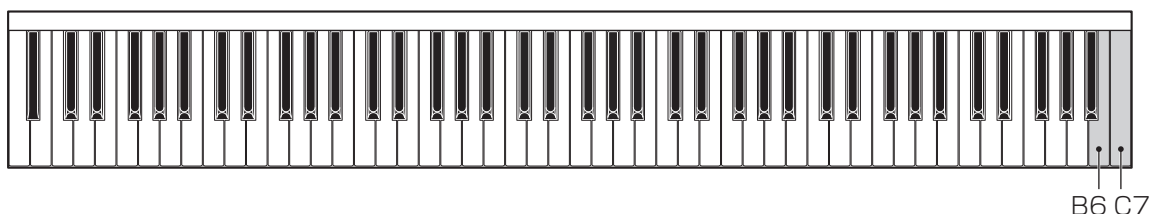
⇒詳しくは 19 ページをご覧ください。



〈複数保存されている曲を再生する場合〉

1 USBメモリーを本機に接続した状態で、B6とC7（右端の白鍵2つ）を同時に押しながら電源を入れます。

2 電源を入れてから約1～2秒後に鍵盤を戻します。
自動的にUSBメモリーに最初に保存した曲から再生が始まります。



複数曲の再生を終了するには
電源を入れなおす。

聴きたい曲を選ぶには（ダイレクト選曲）

A-1 を押しながら、C0からC#4間の聴きたい曲番号に相当する鍵盤を押す。

曲間を移動するには

ひとつ前の曲を選ぶにはF#6を、ひとつ後の曲を選ぶにはA#6を押す。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6を押しながらA#6を押す。

一時停止するには

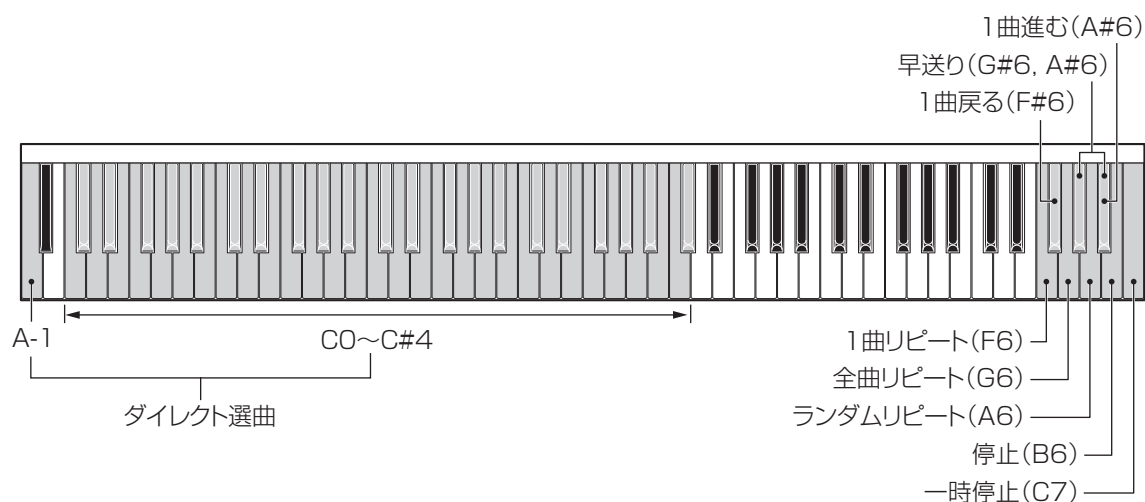
再生中にC7を押す。また、再開するときもC7を押す。

停止するには

再生中にB6または再生/停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。再開するときには再生/停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。

リピート（繰り返し）モードを設定するには

1曲リピートするにはF6を、全曲リピートするにはG6を、ランダム（任意の曲順で）リピートするにはA6を押す。

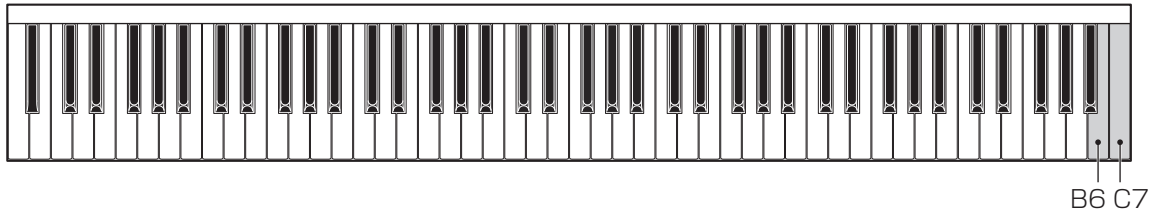


⇒詳しくは19、20ページをご覧ください。

■ 試聴曲を再生する（試聴モード）

1 B6とC7（右端の白鍵2つ）を同時に押しながら電源を入れます。

2 電源を入れてから約1～2秒後に鍵盤を戻します。
自動的に第1曲目から再生が始まります。



試聴モードを終了するには
電源を入れなおす。

聴きたい曲を選ぶには（ダイレクト選曲）

A-1 を押しながら、C0 から C#4 間の聴きたい曲番号に相当する鍵盤を押す。

曲間を移動するには

ひとつ前の曲を選ぶには F#6 を、ひとつ後の曲を選ぶには A#6 を押す。

早送りするには

再生中または一時停止中に、G#6 を押しながら A#6 を押す。

一時停止するには

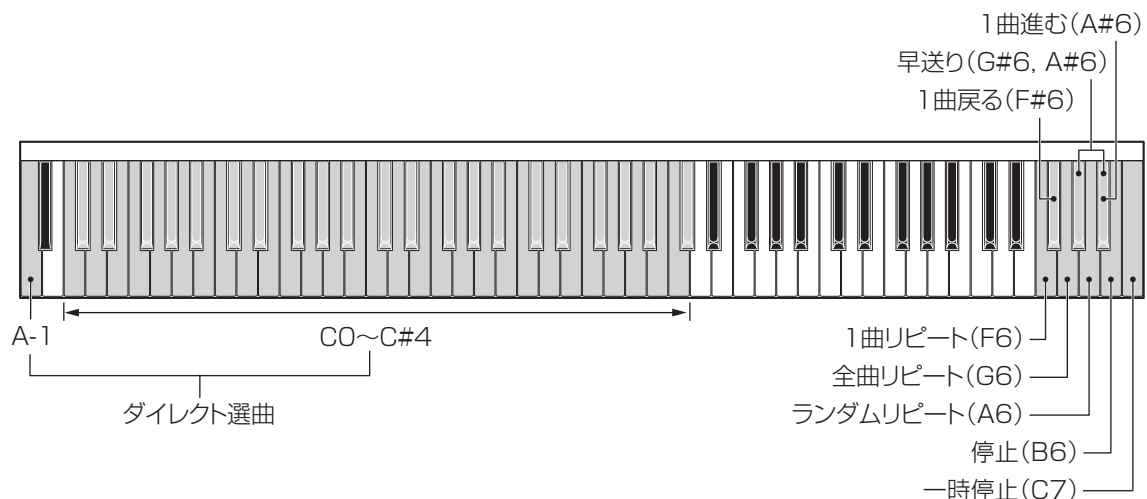
再生中に C7 を押す。また、再開するときも C7 を押す。

停止するには

再生中に B6 または再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。再開するときには再生／停止ボタン（PLAY/STOP）を押す。

リピート（繰り返し）モードを設定するには

1 曲をリピートするには F6 を、全曲をリピートするには G6 を、ランダム（任意の曲順で）リピートするには A6 を押す。



⇒詳しくは21、22、29ページをご覧ください。

保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたお買い上げの日付から1ヵ年です（現金、ローン、月賦などによる区別はございません）。また保証は、日本国内にてのみ有効いたします。

保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。

保証書は大切に保管しましょう

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様に、保証規定に則り、お買い上げの日から向こう1ヵ年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。いつでもご提示いただけますように、十分ご配慮のうえで保管してください。また、後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましても、お捨てにならないでください。

保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金をいただく場合もあります。また、お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続きいたします。

満1ヵ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料になりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

本機についてのお問い合わせは、最寄りのヤマハピアノ特約店／下記のヤマハへ

◇ピアノの機能や取り扱いについてのお問い合わせ

最寄りの特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口

ナビダイヤル **0570-003-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4835へおかけください。

受付時間 月～金 10:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の定休日を除く）

<http://jp.yamaha.com/support/>

◇ピアノの修理についてのお問い合わせ

お買い上げ店、または下記ヤマハ修理ご相談センターへお問い合わせください。

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル **0570-012-808**

上記番号でつながらない場合は053-460-4830へおかけください。

受付時間 月～金 10:00～17:00（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の定休日を除く）

◇その他、本機全般についてのお問い合わせ

株式会社ヤマハミュージックジャパン 楽器営業本部 マーケティング部 ピアノ・EKB課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL 03-5488-5442

※名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

The above contact information is only for the customers who purchased the product in Japan. The information is available in Japanese only.

Les informations de contact citées ci-dessus sont uniquement pour les clients qui ont acheté le produit au Japon. L'information est uniquement disponible en japonais.

Die obige Kontaktinformation gilt nur für Kunden, die das Produkt in Japan gekauft haben. Diese Information ist nur auf Japanisch verfügbar.

La anterior información de contacto sólo es válida para clientes que hayan comprado el producto en Japón. Esta información sólo está disponible en japonés.

Le informazioni di contatto riportate sopra sono ad uso esclusivo dei clienti che hanno acquistato il prodotto in Giappone. Le informazioni sono disponibili solo in lingua giapponese.

上述联系信息仅适用于在日本购买产品的顾客。信息仅在日本能够获得。

上記お問い合わせ先は、日本国内でご購入いただいたお客様専用です。日本語のみのご案内になりますので、あらかじめご了承ください。

MIDI IMPLEMENTATION CHART

YAMAHA
Model: Silent Piano SG2

Date: 18-March-2011
Version: 1.00

Function...		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default	1	1+2	
	Changed	×	×	
Mode	Default	3	3	
	Messages	×	×	
	Altered	*****	×	
Note Number		21-108	21-108	
	: True voice	*****	21-108	
Velocity	Note ON	○ 9nH, v=1-127	○ v=1-127	
	Note OFF	×	×	
After Touch	Key s	×	×	
	Ch s	×	×	
Pitch Bend		×	×	
Control Change	0, 32	○	○	Bank Select
	1	×	○	Modulation
	7	×	○	Volume
	10	×	○	Panpot
	11	×	○	Expression
	64, 67	○	○	Pedal
	91	○	○	Effect Depth
Prog Change		○	○	
	: True #	*****		
System Exclusive		×	×	
Common	: Song Pos	×	×	
	: Song Sel	×	×	
	: Tune	×	×	
System Real Time	: Clock	×	×	
	: Commands	×	×	
Aux	: All Sound OFF	○	○ (120, 126, 127)	
	: Reset All Cntrl s	×	○ (121)	
	: Local ON/OFF	×	○ (122)	
	: All Notes OFF	×	○ (123-125)	
Messages	: Active Sense	○	○	
	: Reset	×	×	
Notes				

Mode 1 : OMNI ON. POLY
Mode 3 : OMNI OFF. POLY

Mode 2 : OMNI ON. MONO
Mode 4 : OMNI OFF. MONO

○: Yes
×: No



YAMAHA CORPORATION

10-1, Naka-ku, Hamamatsu, 430-8650 JAPAN

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1